

重点政策 3

「共に学び合い、共に価値を創る」学びの環境づくり

時代の変化が進む中でますます必要となる県民の自治意識や多様な主体と協働して課題解決する地域の力を引き出すため、「学び」の基盤のリデザイン（機能の最適化）を行い、子どもから大人までが共に創造的な学びに取り組む環境づくりを進めます。

取組の方向性

□ 多様な世代の自治力・協働力を磨く学びの基盤の再構築

- 学びを生み出す「場」の再構築
- 学びを導く「人」の養成
- 学びを支える「情報基盤」の整備
- 学びの「機会」の提供

・図書館の「地域の情報拠点」化の推進
・歴史館の「地域貢献型」の推進
・多様な主体が共に地域課題を考える
「未来型公民館（地域学習センター）」の支援

（専門領域の強みを生かし、課題解決型のワークショップ、プログラムを実施）

□ 未来の信州を担う世代の自治力・協働力の根幹を形作る「学び」の仕組みの推進

- 信州に根ざす意識を大人と共に育む「信州型コミュニティスクール」の促進
- 地域の大人と関わり、信州と繋がる自己の将来を考える「信州学」の推進 等

□ 自治力・協働力を生み出す、学び合いの循環の推進

- 課題解決型のワークショップやプログラムを県下各地で様々な主体が展開
（図書館、美術館、博物館、公民館をはじめ、様々な地域コミュニティ）
- 誰もが多様な学びの発表活動に参加できる、総合的な学びのセミナーの展開
- 優れた学びの取組を全県的に発信（動画ライブラリー等）し、誰もが学びに参加できる環境を整備